

☆間違えやすい敬語☆

- 尊敬語…目上の人に対して、敬って相手の立場を上にする言い方。
基本は語頭に「ご」「お」や、語尾に「れる」「られる」「～になる」「～くださる」といった表現
- 謙譲語…自分や身内の立場を低めることで、相手を敬う言い方。
基本は「お(ご)～する／いたします」「お(ご)～いただく／いただきます」といった表現
- 丁寧語…「お」「ご」や「です」「ます」をつけたりすることで丁寧な表現をし相手への敬意を表す言い方

◇ご苦労様です

→目下の人に対して使う言葉になります。『お疲れ様です』が適切です。

◇了解しました

→敬意のないフランクな表現になります。『承知しました』または『かしこまりました』を用いるようにしましょう

◇ご一緒します

→「ご一緒」という言葉は、対等な関係で使われるものになります。
例えば、目上の人から「一緒に行くか？」と誘われた時には『お供させていただきます』が正しい表現になります。

◇すいません

→「すいません」は「すみません」の口語として定着したため、目上の人に用いるのは失礼な表現となります。
さらにビジネス上では「すみません」を使うことさえNGという考え方もあります。
この言葉には感謝と謝罪の2つの意味が込められているため、「ありがとうございました」と「申し訳ございません」と伝えるのが正式、というものです。

◇おわかりいただけましたでしょうか

→わかりましたか、という意味になり、目上の人に使うのは失礼となります。
「ご理解いただけましたでしょうか」などを用いるようにしましょう。

◇お座りください

→座ってくださいの尊敬表現なので間違いではないのですが、
やはり動物に命令する印象があり、ビジネスシーンではNGとされます。
「お掛けください」が適切です。

◇どちら様でしょうか

→意味としては「あなた、誰?」。直接的で敬意がなく、失礼な聞き方になります。
「お名前をお聞かせいただけますでしょうか」が適切です。

◇しばらくお待ちください

→「しばらく」とは、1分以上待たせるという印象になりますので、
「少々」という早急に対応するという意味の言葉を使いましょう。
「少々お待ちください」を用いるとよいでしょう。

◇お越しになりました

→「お越しになります」「ご覧になります」などの表現もよく耳にするものです。
しかし、「お~になる」「ご~になる」で、すでに敬語となっており、「~られる」をプ
ラスする必要はありません。
「お越しになりました」「ご覧になりますか」が適切です。

◇お客様をお連れしました

→「お連れしました」の“お”は上司に対してへりくだる意味になり、
お客様に対して敬語が使われていません。
「お客様をご案内しました」「お客様がお見えになりました」が適切です。

◇~のほう

→「ご注文のほう」「商品のほう」など幅広く用いられますが、
単純に日本語としておかしい表現となります。
×私のほうで担当いたします → ○私が担当いたします
×書類のほうをお持ちいたします → ○書類をお持ちいたします

◇～お預かりします

→例えば「5000円からお預かりします」など最近では一般的な言葉となりつつありますが、「から」は不要です。

「5000円をお預かりいたします」などが正しい表現になります。

◇～になります

→「～になります」というのは、基本的には物が変化していく様子を表す言い方であり、敬語ではありません。「～に成る」という場合以外は使わないようにしましょう。

×お手洗いは突きあたりになります → ○お手洗いは突きあたりでございます

×500円のお返しになります → ○500円お返しいたします

×会議の資料になります → ○会議の資料でございます

◇今お時間よろしかったでしょうか

→相手が今話せる状況にあるかどうか聞くのは礼儀ですが、「よろしかった」という過去形ではなく「今お時間いただいてもよろしいですか」としましょう。

◇どうかいたしましたか？

→「いかがなしましたか？」などが適切な表現です。

◇ご注意ください

→「お(ご)～する」というのが謙譲表現になります。

「ご注意ください」としましょう。

◇明日は来られますか

→「明日はいらっしゃいますか」が適切です。